

僕の体を、僕以上によく知る 先生がいれば安心して頑張れる

草刈 正雄さん(俳優)

昨年大河ドラマの好演も記憶に新しい、草刈正雄さん。俳優業にますます精を出していますが、その裏で、ちよつとした体調の変化に気を揉んで病院に通う心配性の草刈さんがいました。

広告
これからは、医療と介護でまちづくり



草刈 正雄 (くさかりまさお)
1952年生まれ。福岡県出身。185cmの身長と甘いマスクで、資生堂が男性化粧品ブランドとして初めて出した商品の広告でモデルデビュー。その後俳優として数々の作品に出演する。2016年の大河ドラマ『真田丸』では主人公の父・真田昌幸の飄々とした人物像を見事に演じて話題に。暮らしの中に隠されたさまざまな美を紹介するNHK BSプレミアム『美の壺』では案内役を務めている。唯一の趣味のテニスは「良いストレス解消」と言う。

大病知らずなのに
医者には足繁く通う

ありがたいことにこの歳になるまで、大きな病気を経験したことはありません。ただ僕は病院に誰よりもよく行っているのではないのでしょうか。というのも、人一倍臆病なので「ちよつといつもと調子が違うな」と感じると心配になつて、すぐに医者に行くからです。かかりつけと言えよう医療機関が3軒ありますが、その中でも鎌倉にある病院には非常によくお世話になっています。

友人に紹介されて行くようになった内科の病院で、通い始めて20年以上になります。僕は若い頃からすごい酒飲みで、酒量が落ちた今でも毎日ワインを一本空けてしまうのですが、肝臓の数値が悪かったことがない。でもついこの間、少しだけ数値が悪くてドキッとしたのですが、先生に言わせれば「日本のビジネスマンはみんなこれくらい」なんだそうです。

気になったら医者に行く
それもひとつの健康法

10年ほど前のことになりましたが、友人と一緒に人間ドックの予約をしたことがあります。でも友人が行けなくなったので、妻を誘って出かけました。彼女は私とはまったく逆のタイプで、体を気にしたりすることはなく、病院にもあまり行ったりしないのですが、この時だけは緒に行つたんですね。そうしたら彼女が大腸がんが見つかった。

驚きました。先生に「こういうことってまれにあるんです。夫婦のつながりが強いんでしょね」と言われました。早期だったので手術して経過も順調で、今は安心して暮らしています。私の病院通いが功を奏して良かったという、大きな出来事だったので、ありがとうございます。



僕自身の病気と言えば、舞台を終えるとその途端に100%と言ってしまうくらいひいてしまう風邪くらいのもんです。テレビや映画の撮影の時は、どんなに長丁場だったとしても大丈夫なんです。舞台は生モノなのでより緊張して、終わると急に気がぬけるからでしょうか。面白いほど、舞台を終えた時だけ体調を崩します。そんな時でも、僕をよく知ってくれている、かかりつけの先生がいるのは安心ですね。病院によく行くのも、先生と相性が合っているからということもあると思います。不安なのでしつこく質問しても、ちゃんと話を聞いて答えてくれるという安心感は何物にも代えがたいです。相性の合う先生を見つけて、病院に行くことを苦にしない、ということもひとつの健康法なのかなと思います。

もっと知りたい! かかりつけ医

かかりつけ医を 持っている人は



「かかりつけ医」を持つことで、どのようなメリットがあるのでしょうか。日本医師会が行った調査*によれば、「かかりつけ医」を持っている人は受けた医療に対する満足度が高く、検診の受診率も高いという結果が出ています。
なじみの「かかりつけ医」のもとで病気を早期に見つけることができれば、重症化の予防にもつながることができますし、専門の医療機関を紹介してもらうことも可能になります。
健康診断などに行く機会を利用して、ご自身に合った、何でも相談できる「かかりつけ医」を、ぜひ探してみてください。

日本医師会

*第4回 日本の医療に関する意識調査